

## 伊豆大島の地殻変動 Crustal Deformations of Izu-Oshima Volcano

国土地理院

Geospatial Information Authority of Japan

第1図、第2図は、伊豆大島におけるGNSS連続観測結果である。第1図上段に基線の配置を、下段には図中に表示されている観測点の保守の履歴を示した。第2図(a)は、それぞれの基線の基線長の時系列グラフであり、第2図(b)は比高の時系列グラフである。(a)、(b)いずれも左列に最近約5年間の時系列を、右列に最近約1年間の時系列を示している。島内の基線では(2)「大島1」-「大島2」、(4)「大島1」-「T泉津」、(5)「大島1」-「M三原山火口北A」基線では2012年1月初旬頃から、(3)「大島3」-「大島4」基線では3月頃から縮みの傾向が続いていたが、2012年11月以降は伸びの傾向となった。2013年4月頃から見られた縮みの傾向が8月頃から伸びの傾向に転じていた。

第3図は、伊豆大島でのGNSS観測点における地殻変動ベクトル図である。伊豆半島南部に位置する電子基準点「南伊豆2」を固定局として上段に水平変動ベクトルを、下段に上下変動量を示した。第3図左図は最近1年間の変動を示したものである。第3図右図は、最近3か月間の変動を示したものである。それぞれの期間の正味の小さな膨張が見られる。

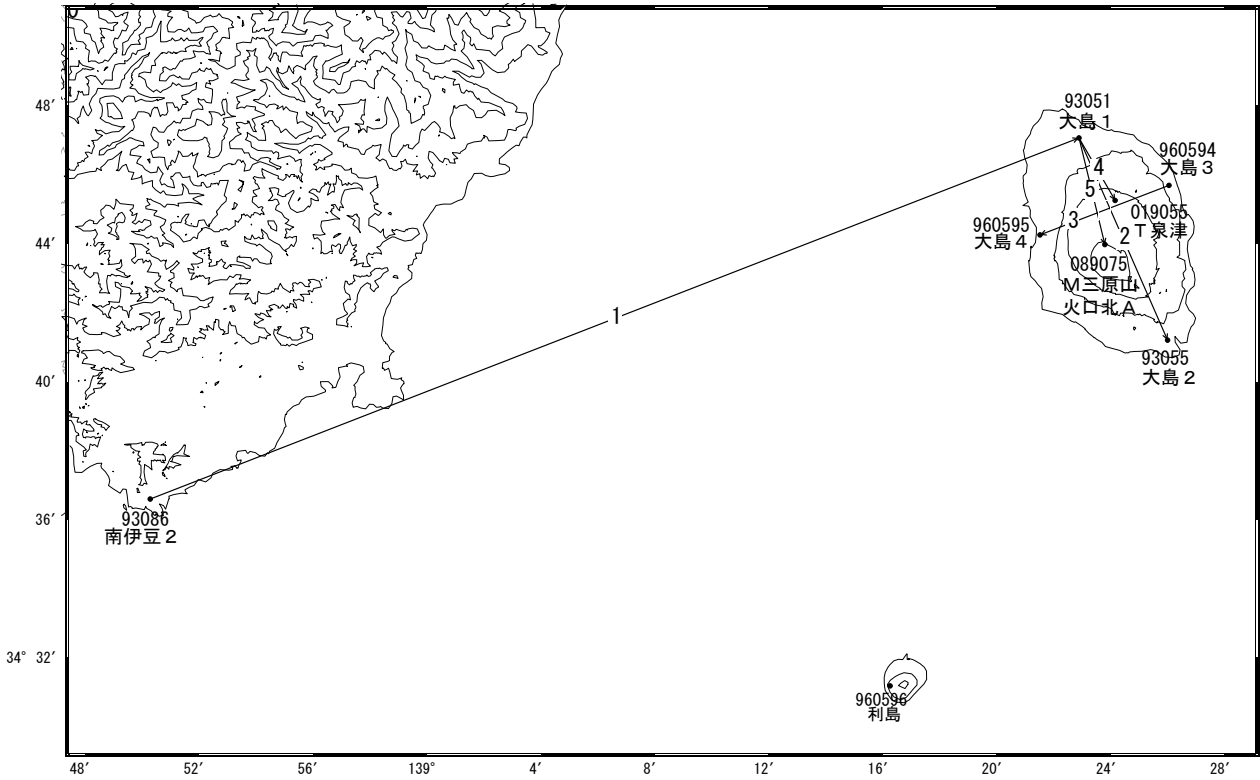
第4図は、三原山周辺の光波測距観測結果である。2009年7月にそれまでのAPSに代えてGeoMoSによる自動観測を開始したが、器械の設置位置はそれ以前と同じ場所である。第4図上段左図が観測点配置図であり、上段右図と下段が基線長の時系列グラフである。最近約5年間の観測結果を示している。GNSS観測と同様の傾向となっていることが確認できる。

第5図、第6図は、GEONETおよび気象庁のGNSS観測点の観測データに基づき、時間依存のインバージョン手法により、変動源を茂木ソースと仮定して体積の増減を時系列的に推定した結果である。第5図は伊豆大島島内の変動源(茂木ソース)の体積変化時系列の推定結果である。第5図上段は推定に用いた観測点の配置と仮定した変動源の位置図である。下段は推定された体積増減の時系列である。伊豆大島島内の変動源は、2004年以降短期的には増減を繰り返しながら、長期的には膨張傾向にあり、2014年までに約20百万 $m^3$ の増加が推定された。第6図は推定された膨張源の変動による各観測点の地殻変動の計算値と、観測値を比較した時系列グラフである。膨張と収縮が繰り返されているが、モデルは比較的良好に観測値を説明していると考えられる。

---

\* 2014年3月28日受領

伊豆大島 GNSS連続観測基線図



伊豆大島の各観測局情報

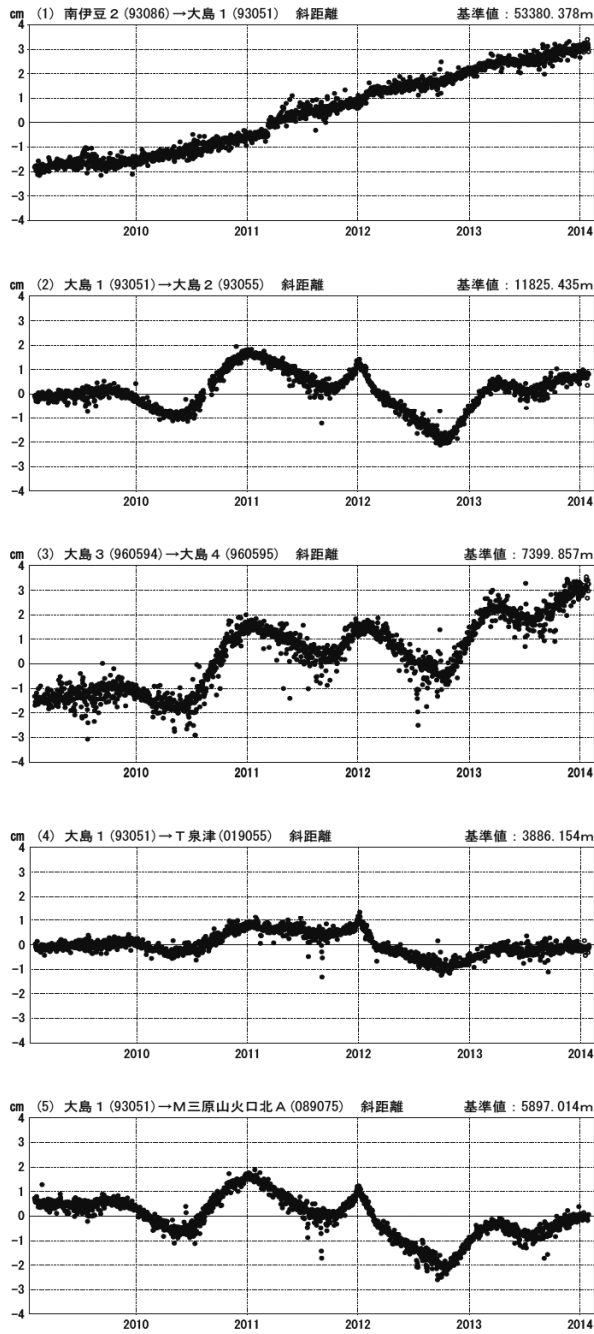
点番号	点名	日付	保守内容
93086	南伊豆2	20030515	アンテナ高調整
		20080120	レドーム開閉・受信機交換
		20121203	アンテナ・受信機交換
93051	大島1	20070324	受信機交換
		20090210	レドーム開閉・受信機交換
		20121009	アンテナ・受信機交換
93055	大島2	20121010	アンテナ・受信機交換
960594	大島3	20100203	レドーム開閉・受信機交換
		20121010	アンテナ・受信機交換
960595	大島4	20100204	レドーム開閉・受信機交換
		20121011	アンテナ交換
019055	T泉津	20060711	周辺伐採
		20090129	受信機交換
089075	M三原山火口北A	20090303	受信機交換

第1図 伊豆大島周辺のGNSS連続観測基線図（上段：基線図、下段：保守履歴）

Fig.1 Site location map of the GNSS continuous observation network around Izu-Oshima Volcano; (upper) Site location map, (lower) History of site maintenance.

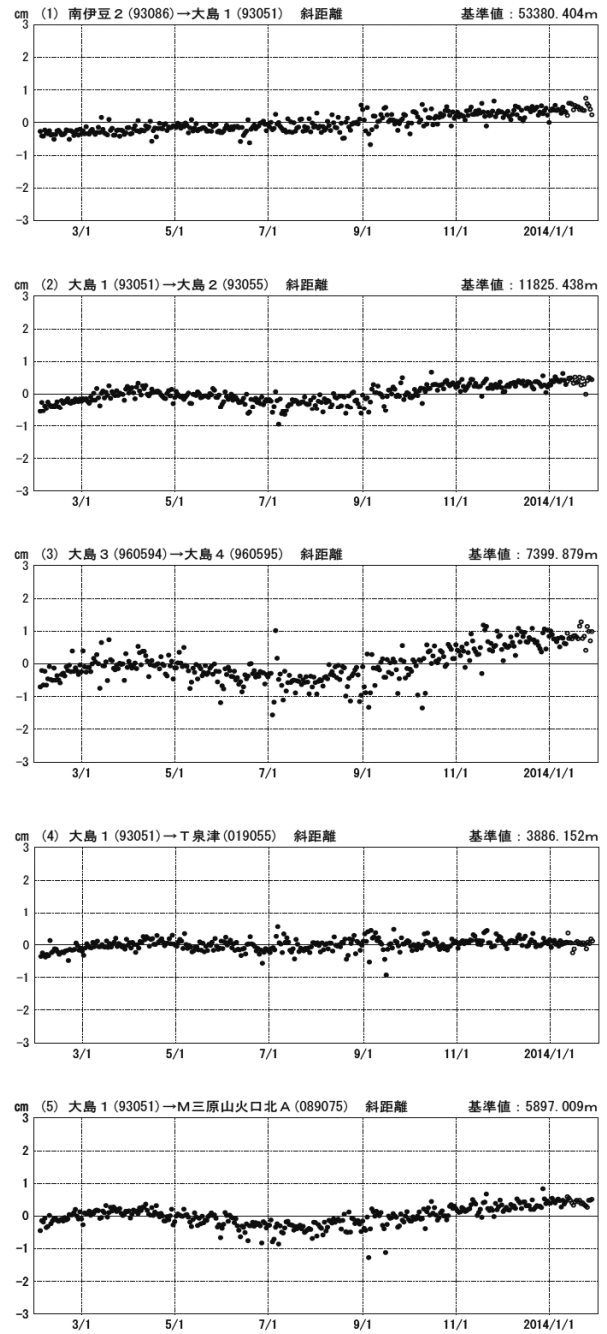
基線変化グラフ

期間：2009/02/01～2014/01/29 JST



基線変化グラフ

期間：2013/02/01～2014/01/29 JST



●—[F3:最終解] ○—[R3:速報解]

第2図(a) 伊豆大島のGNSS連続観測結果(基線長：2009年2月～2014年1月、右列2013年2月～2014年1月)

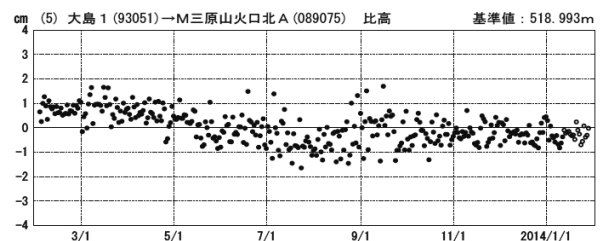
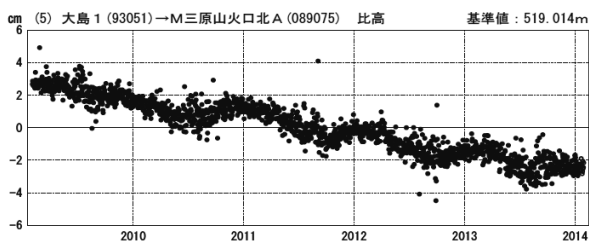
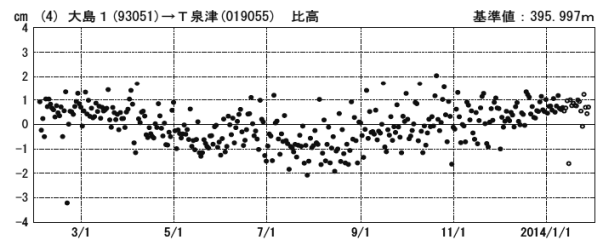
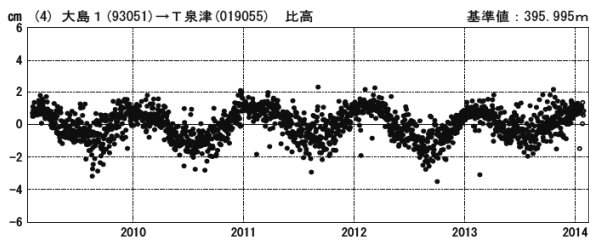
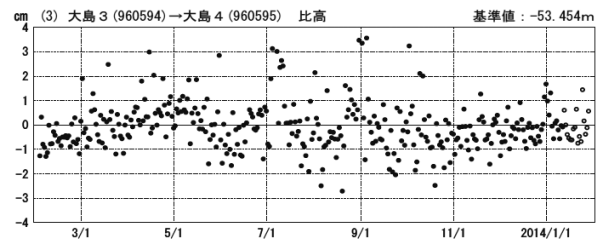
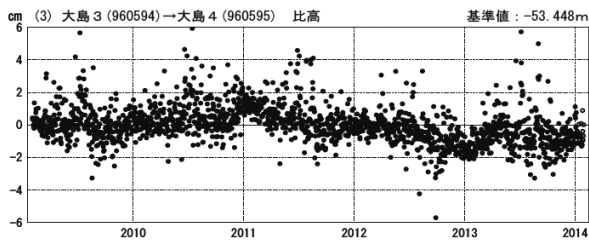
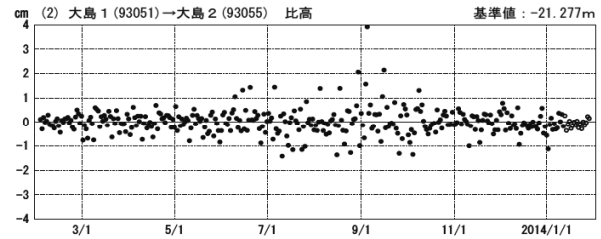
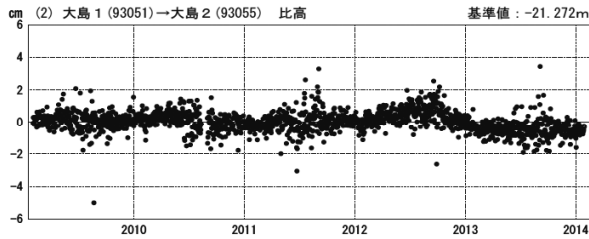
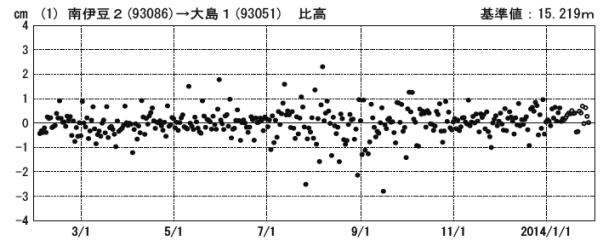
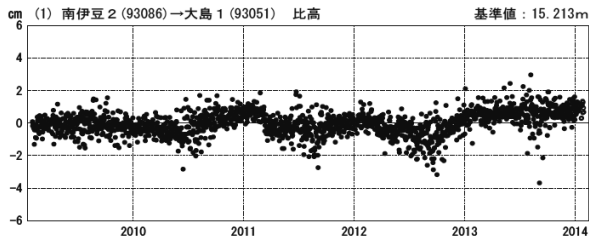
Fig.2(a) Results of continuous GNSS observation around Izu-Oshima Volcano, Baseline length; (left) from February 2009 to January 2014, (right) from February 2013 to January 2014.

比高変化グラフ

比高変化グラフ

期間：2009/02/01～2014/01/29 JST

期間：2013/02/01～2014/01/29 JST

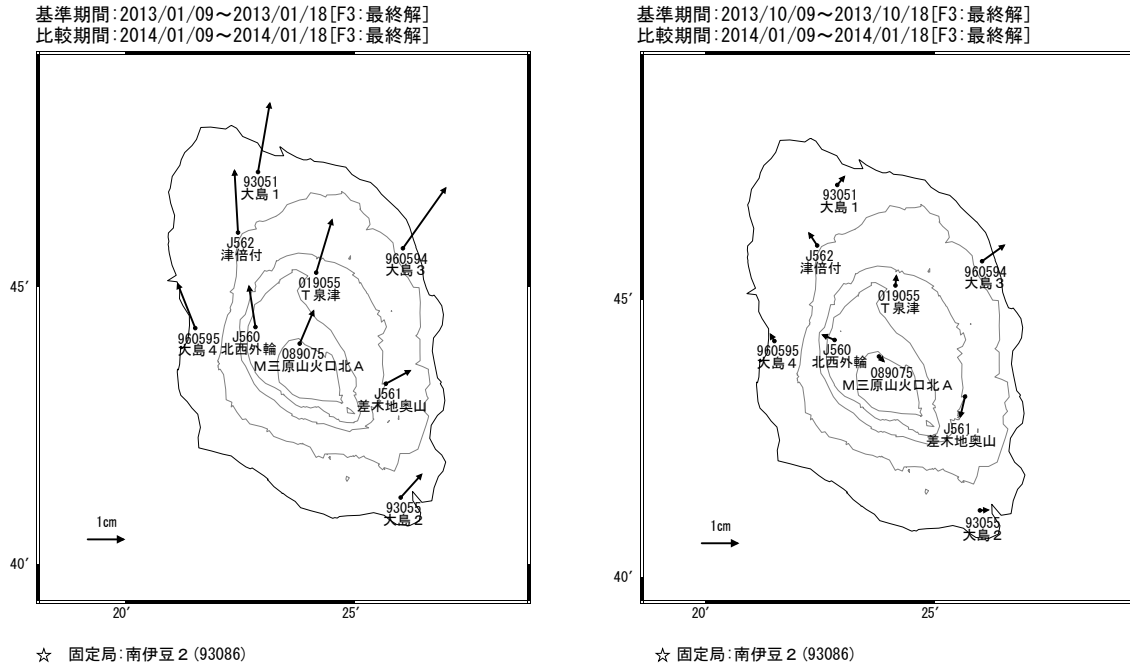


●—[F3:最終解] ○—[R3:速報解]

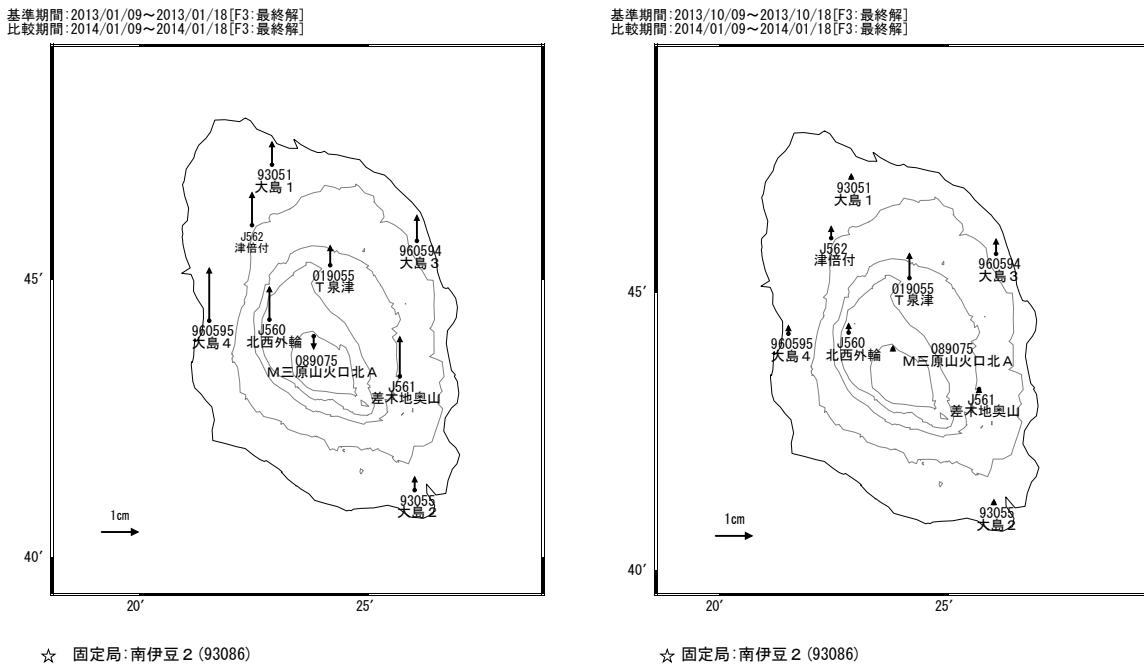
第2図(b) 伊豆大島のGNSS連続観測結果(比高:左列2009年2月~2014年1月、右列2013年2月~2014年1月)

Fig.2(b) Results of continuous GNSS observation around Izu-Oshima Volcano, Relative Height; (left) from February 2009 to January 2014, (right) from February 2013 to January 2014.

## 伊豆大島の地殻変動(水平 : 左 1年, 右 3ヶ月)



## 伊豆大島の地殻変動(上下 : 左 1年, 右 3ヶ月)

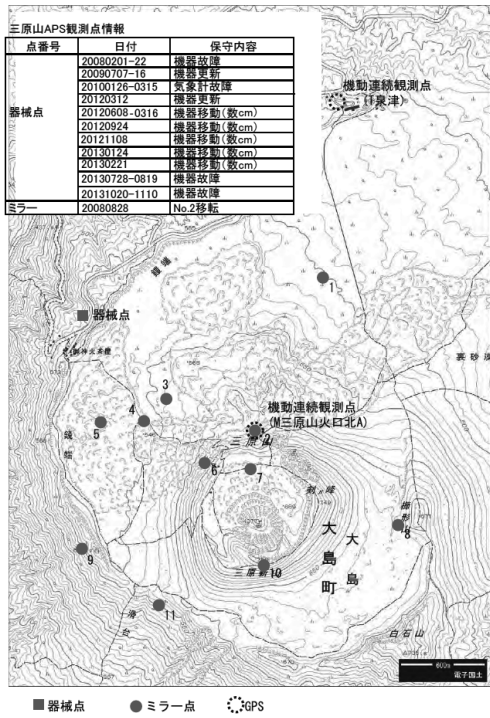


※電子基準点の保守等による変動は補正済み

第3図 伊豆大島におけるGNSS連続観測点の変動ベクトル図(上段: 水平変動、下段: 上下変動、左列: 2013年1月~2014年1月、右列: 2013年10月~2014年1月)

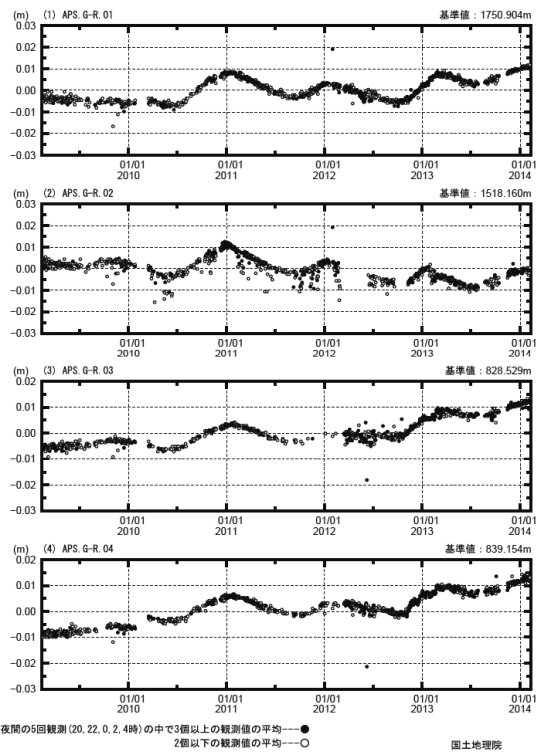
Fig.3 Horizontal and vertical displacement of GNSS stations around Izu-Oshima Volcano (upper: Horizontal, lower: Vertical, left: from January 2013 to January 2014, right: from October 2013 to January 2014).

三原山 測距観測点 設置位置図



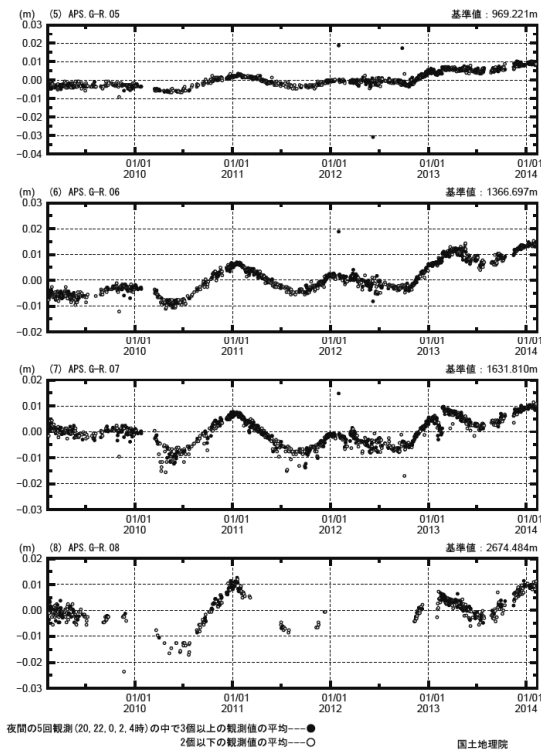
測距連続観測結果

期間：2009/02/10 - 2014/02/06 JST



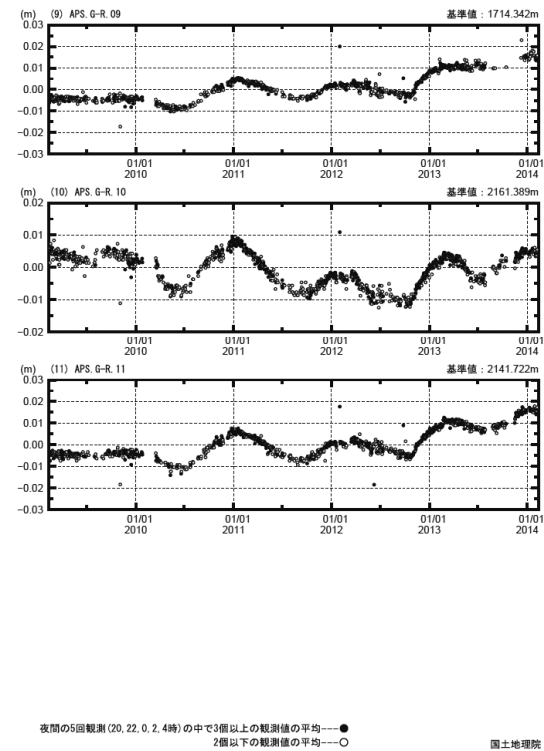
測距連続観測結果

期間：2009/02/10 - 2014/02/06 JST



測距連続観測結果

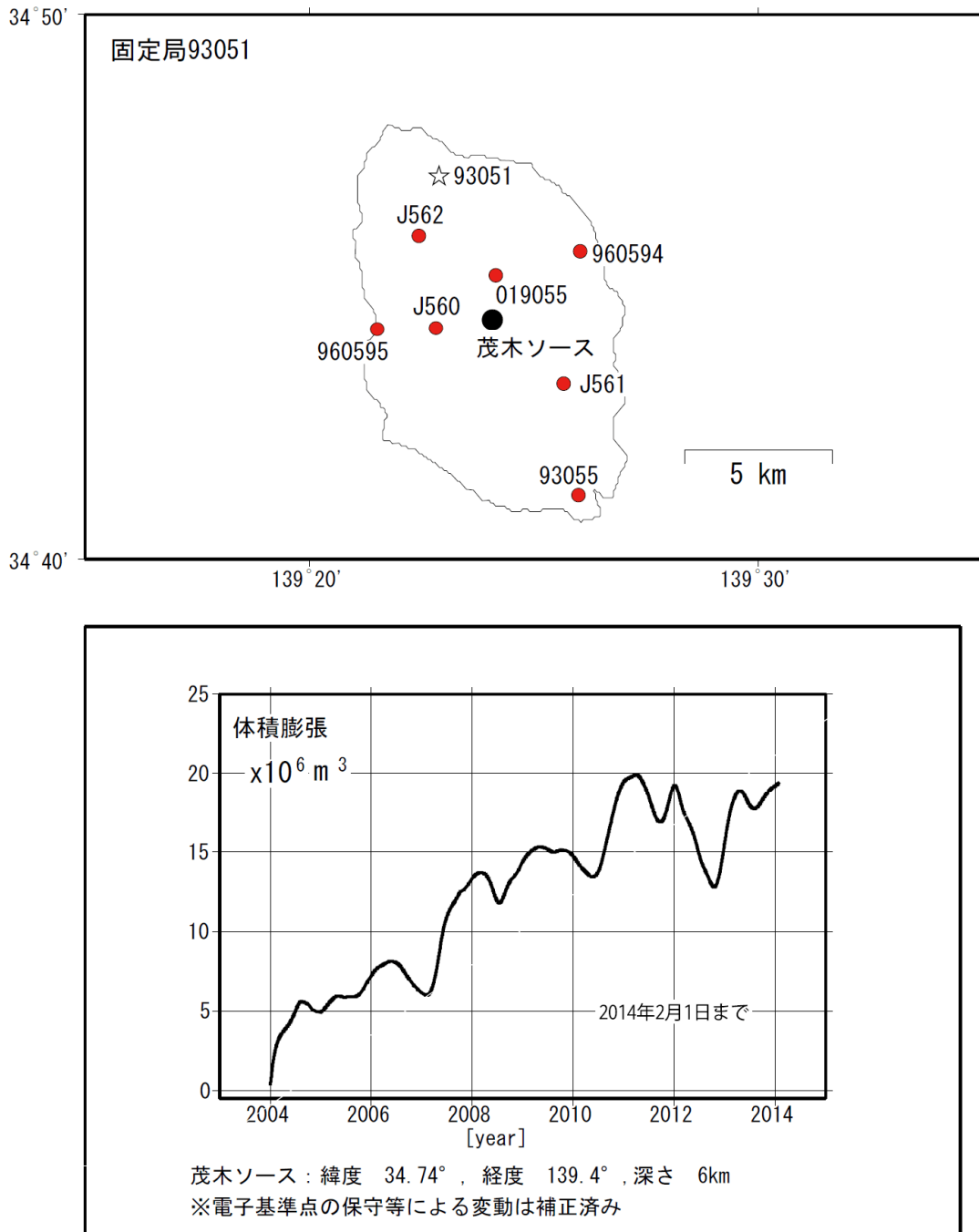
期間：2009/02/10 - 2014/02/06 JST



第4図 伊豆大島の光波測距観測結果(上段左：観測点配置図、上段右・下段左右：連続観測結果)  
 Fig.4 Results of optical distance measurement observation around Izu-Oshima Volcano. (upper left) Location map of observation sites, (upper right and lower) Time series of optical distance measurement results from February 2009 to February 2014.

## 伊豆大島の茂木ソースの位置と体積変化

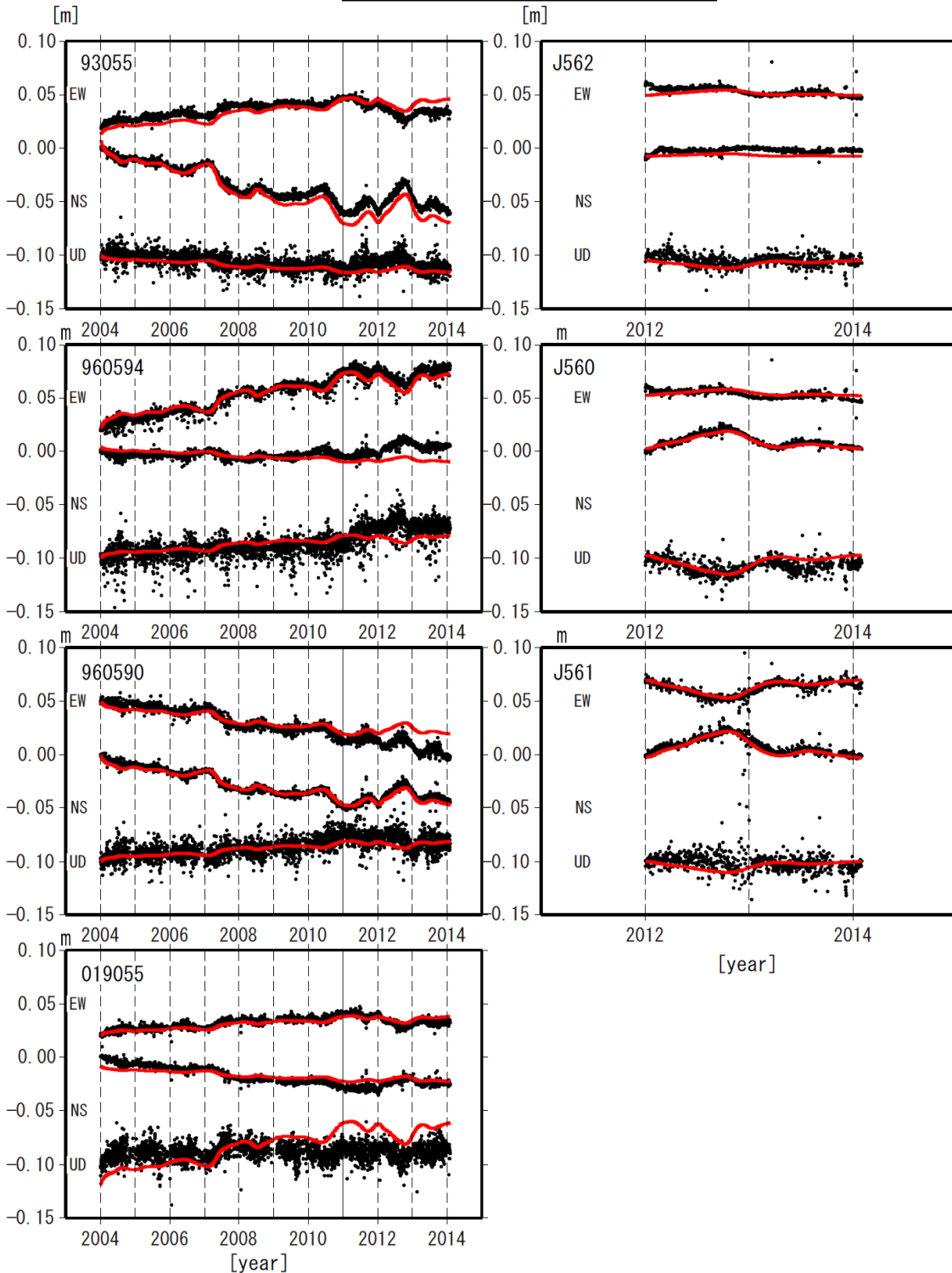
時間依存のインバージョン解析



第5図 時間依存インバージョンの手法による伊豆大島の変動源の体積変化推定（上段：推定に用いた観測点（赤点）、固定点（星印）の配置と茂木ソースの位置（黒丸）、下段：推定された茂木ソース体積の時間変化）

Fig.5 Estimation of the volume change of Mogi-source by the time dependent inversion method, (upper) distribution of GNSS observation sites (red dots) and fixed site (star) used for the inversion and Mogi-source (black circle), (lower) Time series of estimated volume of Mogi-source.

伊豆大島観測点の座標時系列（黒丸）と計算値（赤線）  
時間依存のインバージョン



固定局93051. EW, NS, UDは東西, 南北, 上下変動. 周期成分は除いている.

※電子基準点の保守等による変動は補正済み

第6図 推定された茂木ソースによる地殻変動計算値(赤実線)と観測値(黒点)の比較

Fig.6 Comparison of calculated deformation from the estimated Mogi-source (red lines) and observed deformation (black dots).